

正月用品の価格見通しについて

千葉市では、年末年始に需要が増大する正月用品の価格動向について調査を実施し、結果がまとまりましたので、お知らせします。

1 趣 旨

本市では、年末年始に正月用品を中心に価格が高騰する例があるため、一般食品6品目、青果物15品目、水産物16品目の価格動向及び需給状況の見通しについて関係業界に対し調査し、市民への周知を行うものです。

2 調査実施状況

平成29年12月4日及び5日に、関係者との面談等により、調査を行いました。

品 目	調 査 対 象
一 般 食 品	市内卸売会社（1社）
青 果 物	市内卸売会社（1社）
水 産 物	市内卸売会社（1社）

3 概 要

品 目	概 要
一 般 食 品	消費者の価値観・意識の変化や健康志向等により、おせち料理の需要は減少傾向にある為、供給量が減り供給形態も変化している。全体的に価格は前年並みであるが、一部商品は不漁等による原材料の値上がりにより、前年と比較して高値となる見通しである。
青 果 物	9月～10月の天候不順による長雨や日照不足と、10月の台風の暴風雨の影響や塩害により、出荷の遅れや出荷量の減少が生じて高値が続いている品目が多い。 生育の遅れに伴う入荷の遅れや入荷量の減少は、年末年始も続く見通しのため、全体的には価格は平年と比較し高値となる見通しである。
水 産 物	多くの品目の漁獲量が減少している上に、ロシアの通関規制強化や世界的な和食ブームによる嗜好の変化によって生じた需要増に伴う入荷量の減少の影響により、全体的には価格は前年と比較し高値となる見通しである。

4 調査結果

この調査は千葉市内の卸売価格の見通しであり、小売価格にそのまま反映されることを想定しています。また、今後の気候要因等により価格が変動する場合があります。

(1) 一般食品

品 目	価格見通し (前年比)	概 要
栗きんとん	前年並み	価格は前年並みとなる見通しである。 なお原材料の栗は国産と輸入があり、国産を使用した商品の方が高価である。
伊達巻き	前年並み	価格は前年並みとなる見通しである。 消費量が減り、ーフカットサイズの商品が増えてきている。
田作り (ごまめ)	10%程度高い	不漁による原材料高の影響と需要増により、 価格は前年の10%程度の高値となる見通しである。
青海苔	10%程度高い	不漁で入荷量が減少し、価格は大幅に上昇した前年の更に10%程度の高値となる見通しである。
はば海苔	10~20%程度 安い	不漁と生産者の減少で入荷量が減少しているが、 需要が減少しているため、価格は大幅に上昇した前年より10~20%程度の安値となる見通しである。
黒豆	前年並み	価格は前年並みとなる見通しである。 丹波産の丹波黒豆(ブランド名)を使用した商品は高価である。

(2) 青果物

品 目	価格見通し (平年比)	主要産地	概 要
ほうれんそう	20% 程度高い	千葉 茨城	10月の台風の影響で種子をまき直し したため生育が遅れており、年末年始 の入荷は減少する見込みで、価格は平 年の20%程度の高値となる見通しで ある。
小松菜	平年並み	千葉 茨城	生育は順調であり、価格は平年並みと なる見通しである。

品 目	価格見通し (平年比)	主要産地	概 要
白 菜	40% 程度高い	茨城	10月の台風の影響により生育が遅れており、年末年始の入荷は減少する見込みで、価格は平年の40%程度の高値となる見通しである。 全体として作柄は小玉の傾向である。
キ ャ ベ ツ	15% 程度高い	千葉 愛知	10月の台風の影響により産地の千葉県で塩害が発生し、年末年始の入荷は減少する見込みで価格は平年の15%程度の高値となる見通しである。 全体として作柄は小玉の傾向である。
レ タ ス	平年並み	千葉 鹿児島 熊本	10月の天候不順や台風の影響で生育が1か月程度遅れていて、作柄も小玉であるが、産地作付け面積に変化は無く、価格は平年並みとなる見通しである。
長 ね ぎ	20% 程度高い	千葉	10月の台風の影響により植え直し等を行ったため生育が遅れており、作柄も「曲り」が生じた下等級品が多く、年末年始の入荷は減少する見込みで、価格は平年の20%程度の高値となる見通しである。
ご ぼ う	20% 程度安い	青森	生育は順調で作柄は太物が多く豊作であり、年末年始の入荷は増加する見込みで、価格は平年の20%程度の安値となる見通しである。
里 芋	平年並み	千葉	価格は平年並みとなる見通しである。
大 根	20% 程度高い	千葉 神奈川	10月の台風の影響により産地の千葉県で塩害が発生し、年末年始の入荷は減少する見込みで価格は平年の20%程度の高値となる見通しである。
れ ん 根	平年並み	千葉 茨城	価格は平年並みとなる見通しである。
人 参	平年並み	千葉	価格は平年並みとなる見通しである。 10月の台風の影響により作柄は小ぶりである。
生しいたけ	平年並み	千葉 栃木 福島	冷え込みの影響により年末年始の入荷は減少する可能性があるが、価格は平年並みとなる見通しである。

品 目	価格見通し (平年比)	主要産地	概 要
み か ん	20% 程度高い	愛媛 静岡	日照不足の影響による不作で、年末年始の入荷は減少する見込みで、価格は平年の20%程度の高値となる見通しである。作柄は愛媛がM、静岡は2L・Lが中心となっている。
り ん ご (ふ じ)	平年並み	長野 秋田 青森	価格は平年並みとなる見通しである。作柄は小玉の傾向である。
い ち ご	平年並み	千葉 栃木	価格は平年並みとなる見通しである。作柄は大玉の傾向で3L, 2LのA等級が中心となっている。

(3) 水産物

品 目	価格見通し (前年比)	主要産地	概 要
ま ぐ ろ 赤 身 (冷 凍)	30% 程度高い	大西洋 インド洋 太平洋	メバチマグロの漁獲量減少により入荷が減少するため、価格は前年の30%程度の高値となる見通しである。
ま ぐ ろ 赤 身 (生)	30% 程度高い	三陸	漁獲量減少に伴い価格は前年の30%程度の高値となる見通しである。
数 の 子	前年並み	アメリカ カナダ	価格は前年並みとなる見通しである。
紅 さ け	20~30% 程度高い	ロシア 北海道	国内の大不漁により価格は前年の20~30%程度の高値となる見通しである。 年末年始用はロシア産が中心となる。
い く ら	50% 程度高い	北海道	さけの不漁に伴い製品の供給が少ないため、価格は前年の50%程度の高値となる見通しである。
か ま ぼ こ	前年並み	神奈川	原材料の供給が安定しており、価格は前年並みとなる見通しである。
干 し す る め	30% 程度高い	北海道	昨年からの大不漁が続いており、大幅高値となった前年の価格の更に30%程度の高値となる見通しである。 原材料は大型サイズが少なくなっている。

品 目	価格見通し (前年比)	主要産地	概 要
い か (するめいか)	20% 程度高い	青森 日本海 太平洋	昨年からの大不漁が続いており、冷凍品も不足しているため、大幅高値となった前年の価格を更に大幅に上回る高値で推移していたが、多少落ち着きを取り戻し、前年の価格の20%程度の高値となる見通しである。
ずわいがに (冷凍)	10% 程度高い	ロシア	ロシアの通関規制強化が続いており入荷が更に減少しているため、価格は前年の10%程度の高値となる見通しである。
たらばがに (冷凍)	前年並み	ロシア	ロシアの通関規制強化が続いており入荷は少ないが、昨年並みの漁獲量があり、価格は前年並みとなる見通しである。
たらばがに (生) (活)	前年並み	ロシア 北海道	ロシアの通関規制強化が続き、ここ数年は漁獲量も少なく、入荷の減少に伴い価格は高値止まりしていて、前年並みとなる見通しである。
海 老 (有頭)	前年並み	フィリピン	価格は前年並みとなる見通しである。
海 老 (無頭)	10% 程度高い	インドネシア	昨年よりブラックタイガーの生産が減ったことに伴い入荷も減少したため、価格は前年の10%程度の高値となる見通しである。
た こ (生)	30% 程度高い	モーリタニア モロッコ	水揚げ量が減少した上にヨーロッパ等からの引き合いも強力かつ大量になっているため、入荷が減少し価格は前年の30%程度の高値となる見通しである。
た こ (酢だこ)	20% 程度高い	北海道 モロッコ	国内での水だこの水揚げ量の減少に伴い浜値が高騰した上に、アフリカ産の入荷減の影響が加わり、価格は前年の20%程度の高値となる見通しである。
昆 布	前年並み	北海道 三陸 韓国	日高昆布と生のきざみ昆布共に、価格は前年並みとなる見通しである。